



## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 崇り	「弱り目に祟り目」の「祟り」の部分が入ります。意味は「不運なことが重なって、さらに悪い状態になること」です。
問2	答え 4 秘密は漏れやすいので、言動には十分注意すべきだ	「壁に耳あり障子に目あり」は「秘密は漏れやすいので、言動には十分注意すべきだ」という意味です。
問3	答え 1 あらゆる手段を講じたが、どれも効果がなく行き詰まること	「万策尽きる」は「あらゆる手段を講じたが、どれも効果がなく行き詰まること」という意味です。
問4	答え 1 強大な力を持つ者に、さらに強い味方が加わって無敵になること	「虎に翼」は「強大な力を持つ者に、さらに強い味方が加わって無敵になること」という意味です。
問5	答え 4 鼻くそ	「目くそ鼻くそを笑う」の「鼻くそ」の部分が入ります。意味は「自分も大した欠点があるのに、他人の欠点を笑うこと」です。
問6	答え 4 鳴か	「鳴かず飛ばず」の「鳴か」の部分が入ります。意味は「長い間、何の活躍もせず機会を待っている状態」です。
問7	答え 3 杖	「転ばぬ先の杖」の「杖」の部分が入ります。意味は「失敗してから後悔しないように、前もって準備や用心をしておくこと」です。
問8	答え 2 油揚げ	「鳶に油揚げをさらわれる」の「油揚げ」の部分が入ります。意味は「油断している隙に、自分のものを横取りされること」です。
問9	答え 1 似たような物事が次々と現れることのたとえ	「雨後の筍」は「似たような物事が次々と現れることのたとえ」という意味です。
問10	答え 1 三日	「三日坊主」の「三日」の部分が入ります。意味は「飽きっぽくて長続きしないことのたとえ」です。
問11	答え 1 人に疑われるような紛らわしい行いは避けるべきだ	「瓜田李下」は「人に疑われるような紛らわしい行いは避けるべきだ」という意味です。
問12	答え 3 物事に執着せず、過ぎ去る雲や煙のように淡々と受け流すこと	「雲煙過眼」は「物事に執着せず、過ぎ去る雲や煙のように淡々と受け流すこと」という意味です。
問13	答え 2 恥	「聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥」の「恥」の部分が入ります。意味は「知らないことを聞くのはその場限りの恥だが、聞かないでいると一生恥をかくことになる」です。
問14	答え 2 反哺	「烏に反哺の孝あり」の「反哺」の部分が入ります。意味は「子が成長して親の恩に報いること」です。
問15	答え 4 学問や進歩がなく、昔のままの未熟な者	「呉下の阿蒙」は「学問や進歩がなく、昔のままの未熟な者」という意味です。
問16	答え 2 能力のない者がいくら考えても良い案は浮かばず、休んでいるのと同じである	「下手の考え休むに似たり」は「能力のない者がいくら考えても良い案は浮かばず、休んでいるのと同じである」という意味です。
問17	答え 1 鯛	「腐っても鯛」の「鯛」の部分が入ります。意味は「優れたものは、たとえ落ちぶれてもそれなりの価値や品格を保っていること」です。